

[イマズスルフロン・ピラクロニル・
ベンゾビシクロン粒剤]

農林水産省登録 第 2 2 7 9 0 号
性 状：類白色細粒、水溶性パック入り、1パック 20g
毒 性：普通物
危 険 物：—
有効年限：5 年
包 装：200g (20g × 10) × 20

忍® シ ャ ン ボ

有効成分：イマズスルフロン4.5% ピラクロニル10.0%
 ベンゾビシクロン10.0%



こちらのバーコードをスマートフォン等で読み取るとi-農力サイトに掲載されている本剤の新しい情報をご覧になれます。また、詳しい読み取り方・最新情報については11頁をご覧ください。

[適用と使用方法]

作物名	適用雑草名	使用時期*	10アール 当り使用量	総使用回数*	使用方法
移植水稲	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草 アオミドロ・藻類によ る表層はく離	移植直後～ ノビエ 2.5葉期 ただし、移植後 30日まで	小包装 (パック) 10個 (200g)	本 剤：1回 イマズスルフロン：2回 ピラクロニル：2回 ベンゾビシクロン：3回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。
直播水稲	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ ノビエ 2.5葉期 ただし、 収穫90日前 まで			

⚠ 効果・薬害等の注意

●主要雑草に対する散布適期幅

ホタルイ	2葉期まで	ヒルムシロ	発生期まで
ウリカワ	2葉期まで	セリ	再生前から再生始期まで
ヘラオモダカ	2葉期まで	オモダカ	発生始期まで
ミズガヤツリ	2葉期まで	クログワイ	発生始期まで
		コウキヤガラ	発生始期まで
		シズイ	草丈3cmまで
		アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生前

○雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失しないように使用する。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に使用するよう注意する。

○オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用する。

- 藻類または表層はく離の発生しやすい水田では、有効な剤との組み合わせで使用する。
- 苗の植え付けが均一になるように整地、代かきはいねいに行い、ワラくずなどの浮遊物はできるだけ取り除く。また、未熟有機物を施用した場合は特にいねいに行う。
- 処理に当たっては、水の出入りを止めて5～6cmの湛水状態に保つ。処理後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないように

- し、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしない。自然減水により田面の一部が露出するようになったら、水尻を止めて通常の水深になるまで水を入れて水口を閉じる。
- 本剤は小包装（パック）のまま、10アール当り10個の割合で水田に均等に投げ入れる。
 - 藻や浮き草が多発している水田では拡散が不十分となり、部分的な薬害や効果不足の可能性があるので使用をさける。
 - パックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、降雨で破袋することがないように注意する。
 - 直播水稲で使用する場合、稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので注意する。
 - 以下のような条件では薬害が発生するおそれがあるので使用をさける。特に、処理時または処理後数日以内に異常高温が重なる場合は、初期生育の抑制が顕著になるので注意する。
 - 砂質土壌の水田および漏水の大きな水田（減水深が2cm/日以上）。
 - 軟弱な苗を移植した水田。
 - 極端な浅植えの水田。
 - 梅雨期等、処理後に多量の降雨が予想される場合には、除草効果が低下することがあるので使用をさける。
 - 移植前に生育したミズガヤツリには効果が劣るので、物理的防除方法などを用いて移植前に防除してから使用する。
 - その殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意する。
 - いぐさ栽培予定水田では使用しない。
 - 本剤を使用した水田の田面水は、他作物の灌水に用いない。
 - 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。



安全使用上の注意

- 濡れた手で触らない。
- 水溶性フィルム包装が破袋した場合は以下の点に注意する。
 - 眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。（弱い刺激性）
- 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう注意して使用する。
- 散布後は水管理に注意する。
- 空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。
- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。
- 吸湿性があるので湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を堅く閉じて保管する。
- 袋の中身のパックは強く圧するとフィルムが破れるおそれがあるので注意する。

〔品目特性〕

- SU抵抗性雑草に高い効果を示します。
- ノビエから多年生カヤツリグサ科雑草まで幅広く効きます。
- 移植直後からノビエ2.5葉期まで幅広く使えます。
- ジャンボ剤なので水田に入らず畦畔からパックを手で投げ入れるだけの省力散布ができます。